

事後評価 【番号2】

総合流域防災事業
一級河川吉野川水系 前川

● 事業の目的及び経緯

事業の目的

前川では、豪雨等に起因する流域内の浸水に伴い、家屋や農作物など多岐にわたる被害が発生し、流域住民が経済的・精神的負担を受けてきたため、河川改修により浸水被害の軽減を図る。

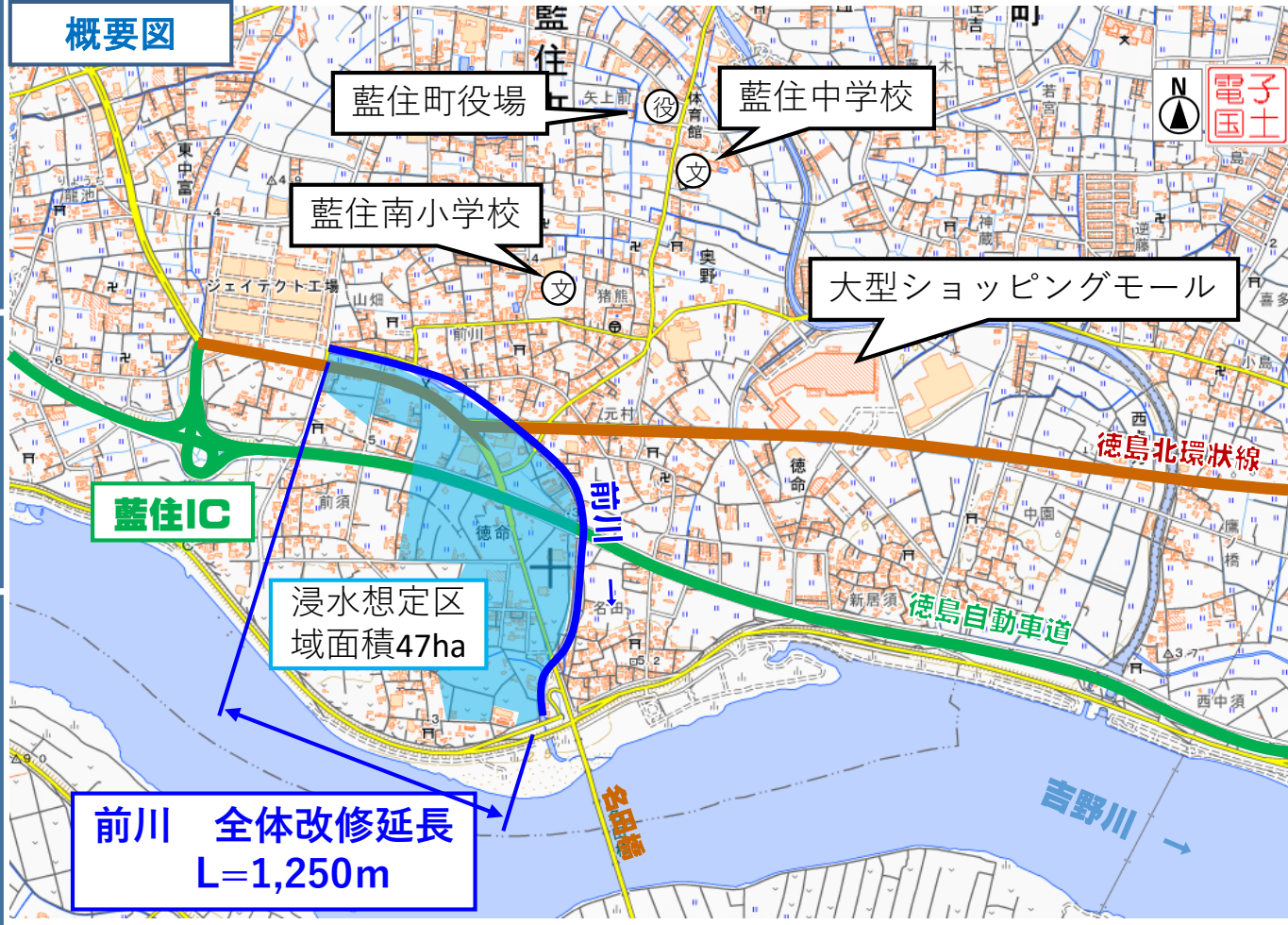
河川概要

- ・ 流路延長1.5km
- ・ 流域面積2.6km²
- ・ 昭和51年台風17号
(床上29戸、床下355戸)

事業概要

- ・ 昭和56年度着工
(改修延長1,250m)
- ・ 平成29年度完成

位置図



● 事業の目的及び経緯

整備状況



整備後

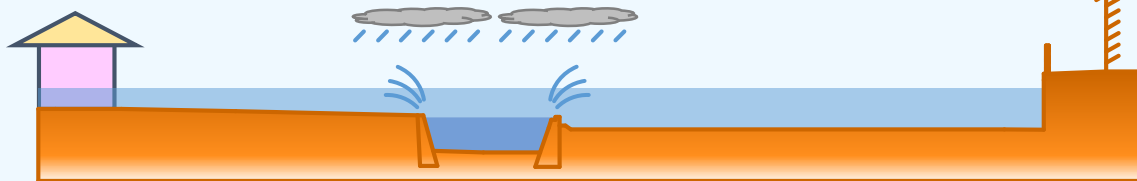
● 整備効果

計画上の整備効果

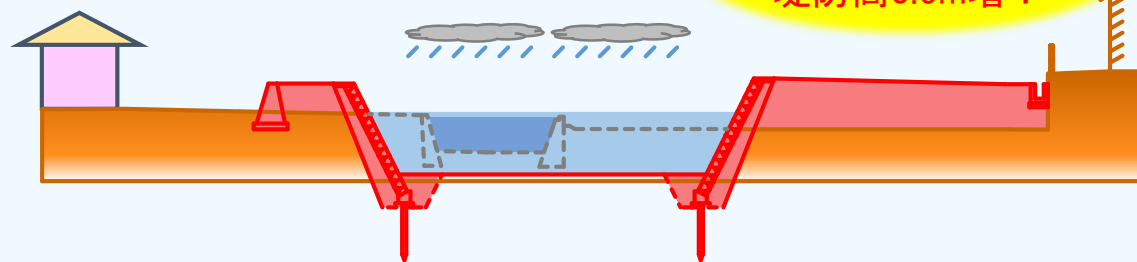
- ・ 概ね10年に1回程度発生する降雨による家屋浸水被害の解消。

改修による整備効果

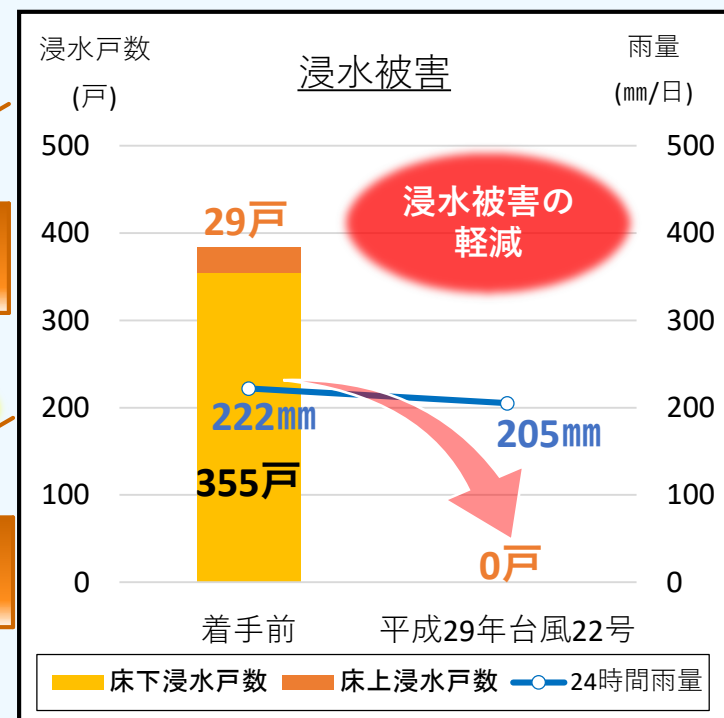
整備前



整備後



河道断面積約3倍
堤防高0.6m増!



治水安全度 (1/10) 確保

● 整備によるストック効果

水害による被害の軽減

○医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減



医療施設（要配慮者利用施設の機能確保）

○防災拠点施設の機能低下による被害軽減

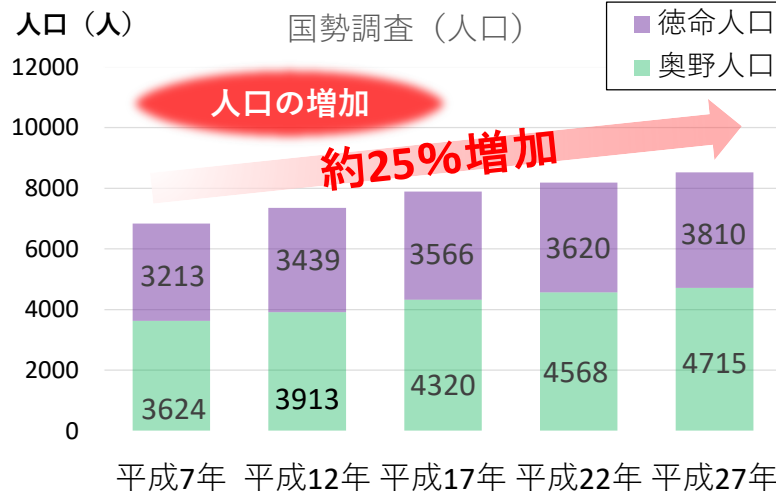


藍住町西交番（災害時の治安維持）

→災害発生時の機能維持

社会情勢の変化

○改修区間流域での人口、世帯数の増加
大型ショッピングモールの建設



→地域の発展への効果